

満点飼い主とは？

🌸 ペットにとっての満点飼い主

ペットを飼うというのは、そのペットの生涯にわたって快適な環境で暮らせるように愛情と責任を持つことです。ただ食餌と水を与えて生かしておくことはありません。私たちが健康で人間らしく生きていくためには、食べ物と水だけでなく快適な住居や友人とのコミュニケーションや娯楽などが必要なように、ペットにもその種類や品種に応じた「必要なもの（ニーズ）」があります。テレビなどのメディアには様々な情報があふれ、中にはペットの本能や習性を正しく伝えていないこともありますから、擬人化や一方的な思い込みではなく、ペットについて正確な知識をもって、ペットのニーズに合わせて適切に扱うことが大切です。自分のライフスタイルやペットと共に過ごす時間や経済的なことなどをよく考えて、「飼いたいペット」よりも「飼えるペット」を選びましょう。

ペットと一緒に暮らしていくことは、互いに影響し合い、いい関係を作っていくことでもあります。ペットを思い通りにしようとしたり、逆に野放しに好き勝手にさせたり、一方的に癒しを求めることはありません。ペットのニーズを満たしながら、人間社会で暮らしていくために必要なしつけをするなど適切な管理をし、またペットの立場になって考えながら、双方にとって暮らしやすいように努力していくことが大切です。

🌸 地域社会にとっての満点飼い主

ペットを大切にするあまり、ペットに良かれと思うことが最優先になるのも考えものです。飼い主もペットも地域社会で暮らしている以上、ご近所などの調和を考えなくてはなりません。動物好きの人はつい忘れがちですが、社会には動物が嫌いな人や恐怖感を持っている人もいますし、体の不自由な人はペットが放されているだけで大きな不安を感じることもあります。鳴き声や羽毛、排泄物、臭いなど、飼い主が気づかなくても迷惑を感じている人がいるかもしれません。迷惑と思っているもご近所づき合いの遠慮から言いにくい場合もありますから、「うちのコだけは大丈夫」ではなく、飼い主の方から積極的に気を配ることが求められます。

ペットを飼うことは個人の趣味のひとつですが、不適切な飼い方は、ペットを苦しめるだけでなく社会に様々な影響を及ぼします。人と動物の共通感染症など公衆衛生上の問題や、臭気、鳴き声などの生活上の迷惑など直接的な影響だけでなく、不適切な扱いを受けているペットを見聞きした人への不快感や、子供たちへの教育など間接的影響もあることを忘れないようにしましょう。



📌 ペットに必要なもの：5つのニーズ

- | | |
|--------------------------|---|
| ① 適切な環境 | 温湿度、設備、用具など、動物にとって快適な生活環境を作る。 |
| ② 適切な食餌 | 健康維持のために適切な食餌と水を与える。 |
| ③ 通常の行動パターンを表現すること | 各動物の本能・習性に合った自然な行動が行えるようにする。 |
| ④ 他の動物と一緒にもしくは隔離して生活すること | 習性に応じて、群れあるいは単独で飼育する。 |
| ⑤ 痛み、苦痛、外傷や疾病から守られること | ケガや病気から守り、病気の場合には十分な獣医療を施す。また、恐怖心や精神的な苦痛（不安）を与えないようにする。 |